

平成30年産 紀南のすもも産地情報

2018/07/30

「生育概況」

1. 本年のすももの開花は、3月の気温が高く推移し、主力の大石早生の満開は3月17日と平年より10日程度早くなった。開花期間は14日間とほぼ平年並みとなり、サンタローザ・ソルダムとの開花も揃った。

5月に入り月上旬は平年より多い降雨があったが、その後は平年並みとなり、また気温もほぼ平年並みで推移し順調に生育が進んだ。

大石早生の出荷は5月28日から始まり、6月4日のピークより肥大が進み大玉傾向の出荷となった。

ソルダムの出荷は6月13日から始まり、6月27日にピークを迎え7月11日で販売を終了している。

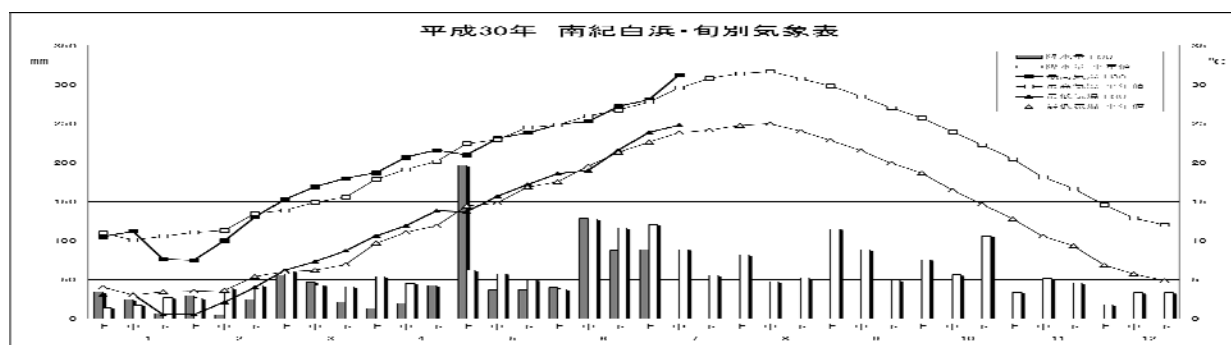
本年は出荷開始が早くなったが、他産地も同じ状況となり販売環境は厳しかった。

2. 生産見込み量は、大石早生・ソルダムは前年より多く、平年並みであった。サンタローザは前年より多く、平年より少なくなった。

7/30日時点（生産見込量：t）

品種	30年産	29年産	平年	前年比	平年比
大石	223.0	161.1	217.7	138%	102%
サンタローザ	19.6	15.3	25.0	128%	78%
ソルダム	93.2	43.4	97.0	215%	96%

3. 果実生育期の気温は、5月上旬までは平年より高く推移したが、その後は平年並みとなった。また降水量は5月上旬に最も多く、その後は平年並みの降水量となった。



南紀白浜気象データより（平年は白浜気象データ）

「産地の課題と方向」

主力である大石早生の生産量 300 t を確保するため、引き続き老木樹の改植、他品目からの転換と、授粉対策の徹底により安定生産に努めることが重要である。